

## 関西蓄電池人材育成等コンソーシアム 第5回本会合 議事要旨

### 1. 日時

令和6年3月4日(月) 15:00~17:00

### 2. 開催方法

ナレッジキャピタルカンファレンスルーム&オンライン (Microsoft Teams)

### 3. 参加企業・団体

パナソニックエナジー(株)、パナソニック オペレーショナルエクセレンス (株)、プライムプラネットエナジー&ソリューションズ(株)、(株)GSユアサ、日置電機(株)、(株)堀場製作所、(株)島津製作所、(株)コベルコ科研、日総工産(株)、日研トータルソーシング(株)、技術研究組合リチウムイオン電池材料評価研究センター (LIBTEC)、(公社)関西経済連合会、(一社)電池工業会 (BAJ)、(一社)電池サプライチェーン協議会 (BASC)

三重大学、京都大学、京都先端科学大学、大阪大学、大阪公立大学、近畿大学、兵庫県立大学、大阪公立大学工業高等専門学校、神戸市立工業高等専門学校、国立高等専門学校機構、近畿職業能力開発大学校

福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、堺市、神戸市、姫路市、関西職業能力開発促進センター、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 (JEED)、(国研)産業技術総合研究所 (AIST)、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)、(独)製品評価技術基盤機構 (NITE)、文部科学省、経済産業省、近畿経済産業局

(事務局：近畿経済産業局、BAJ、BASC)

### 4. 議事要旨

資料1「蓄電池産業の現状と今後の方向性」について、経済産業省より説明

資料2「バッテリー人材育成の方向性2.0(案)」について、近畿経済産業局・産業技術総合研究所関西センター・近畿大学理工学部・大阪公立大学工業高等専門学校・国立高等専門学校機構・電池サプライチェーン協議会より説明

### 5. 質疑応答・意見交換における参加者からの発言要旨は以下のとおり。

- 産業界においてこれまで積極的に公開してこなかった電池の製造工程をオープンにして、また、教育機関からの協力を得ながら教育コンテンツを作成できたことに感謝。今後はより多くの学校で教育プログラムを実施いただき、ぜひ電池業界を共に盛り上げる仲間になっていただきたい。
- 特に高校/高専向け教育プログラムの検討を通じて、個別の企業と学校間の関係性も構築できた。「学生に選んでもらえる企業」としての魅力向上に努めつつ、バッテリー教育を実施いただける教育機関のエリア拡大に向けて、産学連携をさらに深めながら活動を続けたい。
- 令和5年度の活動を通じて、step1(蓄電池について学びながら興味関心を持つ)に資する教育プログラムが一定整備された。今後は、教育プログラムの質を高めながら、step2(専門的に学ぶ)の準備にも着手する必要がある。また、大学生向けの電池に関する入門的な講座の整備、工学系の既存カリキュラムと電池製造技術との関連性の明確化、理系人材のパイを増やすための小中学校や工業高校以外の高校への打ち込みも検討を進める。
- 来年度以降、コンソーシアム参画機関同士の連携が更に活発になるだろう。参画機関同士が直接繋がって活動を進めつつも、定期的に各プロジェクトの進捗をコンソーシアム全体に共有する場を設けていただきたい。
- 中長期的な観点として、教育プログラムを受講した学生が蓄電池業界を志向した際の受入体制の整備が重要。産業界の前向きな姿勢や強いコミットにより、教育機関も安心して人材を送り出すことができ、更なる実施校の拡大や全国への展開に繋がるだろう。長期的なゴールやエコシステムの構築も見据え、産学官で取組を推進したい。

以上